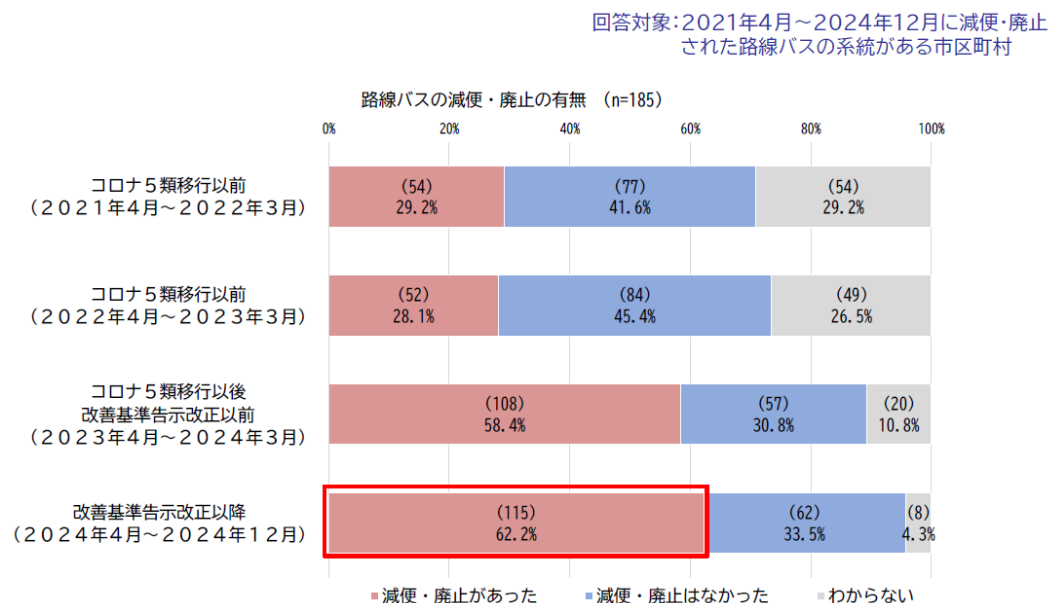


国立市での自動運転について

- 全国的にバス運転士不足が課題となる中、多摩地域でもそうした影響が懸念され、なかなか改善の見込みがない状況です。
- こうした社会情勢を背景として、令和7年度は市内での「自動運転バス」の実証実験を目指し、国土交通省の地域公共交通確保維持改善事業費補助金（自動運転社会実装推進事業）の交付申請を行いました。結果は不採択となりました。
- 全国では、自動運転移送サービスの活用を進めている地域もあり、国立市でも引き続き、検討を進めていきます。

1 路線バスの減便・廃止の状況

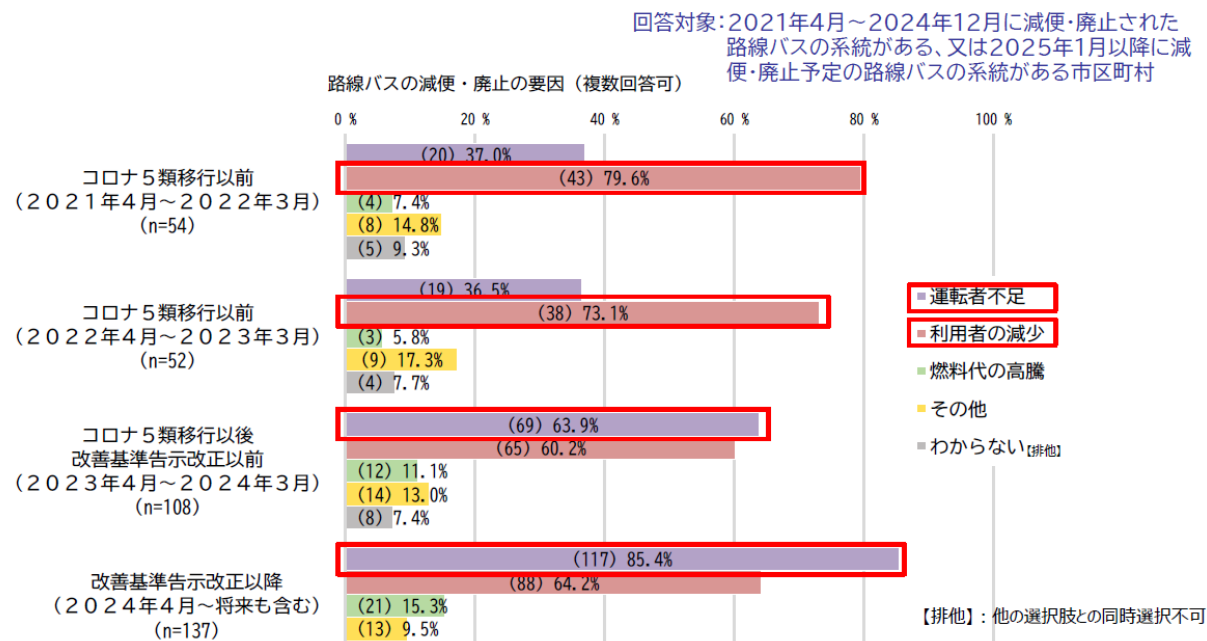
コロナ5類以降後の令和5（2023）年4月から、減便・廃止された市区町村（関東運輸局管内）が増加している。改善基準告示改正以降の令和6（2024）年4月～12月の減便・廃止があったと回答した市区町村が最も多い。



※国土交通省関東運輸局 令和7年3月「関東運輸局管内におけるバス運転者不足問題を踏まえた地域公共交通の確保維持に関する調査」より

2 路線バスの減便廃止の原因

- ・路線バスの減便・廃止の要因について、コロナ5類移行以前は「利用者の減少」が最も多く、約7～8割であった。
- ・「運転者不足」の割合は、コロナ5類移行以前は4割弱であったが、コロナ5類移行以後「利用者の減少」を上回るまで増加し、令和5（2023）年4月～令和6（2024）年3月には63.9%、2024年4月以降（将来も含む）は85.4%となっている。



※国土交通省関東運輸局 令和7年3月「関東運輸局管内におけるバス運転者不足問題を踏まえた地域公共交通の確保維持に関する調査」より

3 令和8年度に向けて

- ・市の予算確保を前提として、主管課としては次年度の実証実験（LEVEL2）に向けて検討を進めていきます。
- ・自動運転バスの乗車の機会を市民の方に提供できることが望ましいと考えています。